



## 株式会社電通と 次世代モビリティ社会実装研究における産学連携協定を締結

— 近未来のモビリティ社会におけるコミュニケーション・プラットフォームや  
広告・コンテンツの配信手法などについて共同研究を進めます —

国立大学法人群馬大学（学長：平塚 浩士、以下：群馬大学）は、株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博、以下：電通）と、「次世代モビリティ社会実装研究における産学連携協定書」を、2018年8月7日付で締結しました。

電通は、自動運転技術により可能性が広がる MaaS（Mobility as a Service：車両の所有ではなくサービスの組み合わせによる新たな交通体系）を見据えた近未来のモビリティ社会に対応するため、モビリティプロジェクトチームを設置し、次世代型のコミュニケーション・プラットフォームの研究開発を進めています。

今後この協定に基づき、群馬大学 研究・産学連携推進機構 次世代モビリティ社会実装研究センターと電通は連携して、近未来のモビリティ社会におけるコミュニケーション・プラットフォームや広告・コンテンツの配信手法などについての研究を行ってまいります。

本件に関するお問い合わせ先

群馬大学 研究・産学連携推進機構

次世代モビリティ社会実装研究センター（担当：宇野・石坂） TEL：027-220-7443